

政策の柱	Ⅲ 市民の快適な暮らしを支えるために	政策名 (基本施策名)	3 上下水道サービスの質を高める	施策名	③ 上下水道施設・資源による環境保全の推進

1 施策の取組状況

主要な取組内容	施策指標の実績とH24末の見通し	指標の達成率	施策指標等 (最上段が、総合計画に基づく指標)	単位	指標の数値(上段:目標値, 下段:実績値)						達成率
					H19	H20	H21	H22	H23	H24	H23
					基準年	実績	実績	実績	実績	見込み	H24見通し
◆上下水道施設の有効活用を推進するため、小水力発電や太陽光発電設備を設置し、二酸化炭素の排出量を削減し環境負荷の低減を図る取組を進めている。 ◆上下水道資源の有効活用を推進するため、処理過程で発生する浄水発生土や下水汚泥の全量リサイクルなどの取組を進めている。	◆総合計画に掲げた施策指標については、太陽光発電設備や小水力発電設備を設置して、計画的に事業を進めている。 ⇒太陽光発電設備からの発電による二酸化炭素の排出量削減効果は当初の計画通りであるが、小水力発電設備による発電に関しては、稼働状況の検証や出力向上を図る必要がある。	57.9%	水道施設の二酸化炭素排出量削減率	%	/	2.0	8.0	14.0	14.0	14.0	57.9%
					2.7	2.7	3.5	7.2	8.1	8.1	57.9%
課題 ◆二酸化炭素の排出量削減については、小水力発電の出力の引き上げが課題となっている。 ◆上下水道資源である浄水発生土及び下水汚泥については、計画的に有効利用を推進してきたが、福島第一原子力発電所事故後は汚泥等に放射性物質が含まれており、今後の有効利用については、適切に対応する必要がある。 ◆地球温暖化防止対策等の社会的ニーズに対応する、新たな施策への取組が課題となっている。					/						
					/						
					/						
市民意識調査(重要度・満足度)						H20	H21	H22	H23		
					重要度	73.8	80.2	76.2	82.0		%
					満足度	30.1	31.6	36.7	35.1		%

2 重点事業の進捗状況

事業名	スケジュール		事業の進捗状況とH24末の見通し	課題
	前期	後期		

3 施策を構成する事務事業の活動指標

No.	事業名	対象者	開始年度	活動指標等	単位	指標の数値(上段:目標値, 下段:実績値)					重点度(A~C) ※施策目標に対する寄与度	事業の方向性	施策目標を達成するための取組方針
						H20	H21	H22	H23	H24			
						実績	実績	実績	実績	実績			
1	環境負荷低減対策事業	水道施設	H19	太陽光発電設備設置	箇所	0	1	0	0	0	A	継続	平成21年度に整備した今市送水管第3減圧所における小水力発電の効果や課題を検証した上で、今後の整備のあり方等を検討していく。
				小水力発電設備設置	箇所	0	1	0	0	1			
						0	1	0	0				
2	下水道資源の有効活用	下水汚泥	H14	資源化工場で溶融スラグ化した脱水汚泥	t	28,341	26,534	22,890	24,399	22,590	A	継続	民間事業者への委託を含め、今後もより良い有効活用手法を検討しながら、発生汚泥全量の有効利用を継続し、環境負荷低減を推進していく。
						22,781	22,083	21,607	22,835				
				民間事業者に処理を委託した脱水汚泥	t	765	731	2,497	1,938	6,498			
					t	642	1,205	2,097	925				
3	浄水発生土の有効利用	浄水発生土	H20	セメント工場で有効利用した浄水発生土	t	1,510	1,600	1,570	1,570	1,570	A	継続	浄水発生土を安定的に有効活用するため、今後もより良い手法を検討しながら、発生土全量の有効利用を継続し、環境負荷低減を推進していく。
						1,543	1,356	1,590	90				